

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【公開番号】特開 2020-199319 (P2020-199319A)

【公開日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-051

【出願番号】特願 2020-155924 (P2020-155924)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

A 6 1 B 6/00 3 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 11 日 (2020.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体を透過した放射線の線量に応じた電荷を発生させる複数の放射線検出素子を備える放射線画像撮影装置において、

撮影モードとして、前記放射線画像撮影装置を制御する制御装置による制御を受けて撮影を行う被制御モードと、前記制御装置による制御を受けずに撮影を行う自立モードを有し、

前記被制御モードでの撮影が可能な状態から前記自立モードでの撮影が可能な状態になったことを通知する通知手段を有することを特徴とする放射線画像撮影装置。

【請求項 2】

前記通知手段は、前記放射線画像撮影装置の筐体に配置されていることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 3】

前記通知手段は、色または点滅による通知であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 4】

前記通知手段は、音声による通知であることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 5】

被写体を透過した放射線の線量に応じた電荷を発生させる複数の放射線検出素子を備える放射線画像撮影装置と、

前記放射線画像撮影装置を制御する制御装置と、
を備える放射線画像撮影システムにおいて、

前記放射線画像撮影装置は、撮影モードとして、前記制御装置による制御を受けて撮影を行う被制御モードと、前記制御装置による制御を受けずに撮影を行う自立モードを有し、

前記制御装置は、前記放射線画像撮影装置が前記被制御モードでの撮影が可能な状態から前記自立モードでの撮影が可能な状態になったことを通知する通知手段を有する、ことを特徴とする放射線画像撮影システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

前記の問題を解決するために、本発明の放射線画像撮影装置は、

被写体を透過した放射線の線量に応じた電荷を発生させる複数の放射線検出素子を備える放射線画像撮影装置において、

撮影モードとして、前記放射線画像撮影装置を制御する制御装置による制御を受けて撮影を行う被制御モードと、前記制御装置による制御を受けずに撮影を行う自立モードを有し、

前記被制御モードでの撮影が可能な状態から前記自立モードでの撮影が可能な状態になったことを通知する通知手段を有することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

また、本発明の放射線画像撮影システムは、

被写体を透過した放射線の線量に応じた電荷を発生させる複数の放射線検出素子を備える放射線画像撮影装置と、

前記放射線画像撮影装置を制御する制御装置と、
を備える放射線画像撮影システムにおいて、

前記放射線画像撮影装置は、撮影モードとして、前記制御装置による制御を受けて撮影を行う被制御モードと、前記制御装置による制御を受けずに撮影を行う自立モードを有し、

前記制御装置は、前記放射線画像撮影装置が前記被制御モードでの撮影が可能な状態から前記自立モードでの撮影が可能な状態になったことを通知する通知手段を有する、
ことを特徴とする。